

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名 放課後等デイサービスのどか

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			
	2 職員の配置数は適切である	5	1		
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	5	・肢体不自由児には利用しづらい環境である。	・入口が2階にあるため階段を上る必要がある。改善は困難。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	1	5		・職員会議や日々の打ち合わせの中でPDCAサイクルを意識しながら行っていく。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	3		・自己評価表を用いて行っている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	2	・公開されているのか、探したが分からなかった。	・単独のページを作る方向で検討する。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		6		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		・グループLINEで研修の案内ができています。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	1		
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2	・日々の児童の個別行動が連絡帳やケースに反映されている。	・現在は標準化されたアセスメントシートは使用していないが、今後適切なものがあれば活用していきたい。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	2	4		・集団活動のグループ分けを事前に決めておくことで準備の時間を作る。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1		
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	4	・細かくは決まっていないように思う。	・今後は個別の活動も増やすよう計画していく。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	2		・個別活動についてはまだ十分とは言えないため、随時支援メニューを増やしていく。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	2	・本年から支援開始前のミーティングを行うようになり、支援業務について確認しあえるようになった。 ・内容の話し合いは行うことができてきているが役割分担は確認できていない。	・日々の打ち合わせの中で細かい役割分担を行う。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		6	・支援終了後の打ち合わせに実施できていない。ただし翌日の支援開始前のミーティングで話し合える。 ・集団活動の振り返りが不十分である。	・支援終了後の打ち合わせは困難なため、翌日の打ち合わせで振り返りを行っていく。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	2	・支援業務後に記入するケースにて記録が取れている。また、反映されているものと思う。 ・記録の書き方の決まりがなくバラバラである。	・特に表現の決まりはなく記録してもらっている。スタッフそれぞれの観点から書いてもらえば良いと考えている。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	2	・モニタリングは行えている。半年後到達可能な目標設定が難しい。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	1			
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	3		サービス担当者会議の開催自体が少ないが、あれば参加している。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名 放課後等デイサービスのどか

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	1		
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		6		
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		6		これまで対象児童が居なかったが、あれば行っていく予定。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	2		対象児童が居なかったが、以前は行っていた。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	5		以前、児童発達センターの研修を受けたことがあるが、最近は行っていない。機会があれば行いたい。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		6		
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		6		
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1		連絡帳や送迎時に情報共有を行っている。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	5		
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1		契約時に行っている。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	3		送迎時等に行っている。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6		今後開催を検討していきたい。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	2		
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	3		紙媒体での会報の発行は行っていないが、インスタグラム等のSNSを通じて情報を発信している。
	35 個人情報に十分注意している	5	1		
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	3		LINEや電話、送迎時に対面にて情報交換を行っている。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6		
	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	3	マニュアル化されたものは見たことがない。	ファイルを置いている場所を周知した。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1	避難訓練及び岩国防災館の見学は実施されたが、非常災害の備えに至っていないと思う。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名 放課後等デイサービスのどか

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	2		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2		当所では医師の指示書は保管していないが、保護者から確認して対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			